

環境法政策学会 2024 年度 学術大会 分科会 について

開催日時：2024 年 6 月 15 日（土）14 時開始・16 時終了（予定）

Zoom を使用してのオンライン開催です。Zoom 情報は 6 月上旬に周知します。

第 1 分科会の時間配分は、報告 20 分、コメント 5 分、質疑応答 5 分です。

第 1 分科会 個別報告〔座長：岡松暁子会員（法政大学）〕

- I 「プラスチック汚染に対する国際的なルール形成をめぐる課題とその対策に関する一考察」
（報告者：中山敬太（九州大学）/コメンテーター：鶴田順（明治学院大学）
- II 「プラスチック汚染条約交渉（INC）におけるライフサイクル各段階の対策の検討」
（中村健太郎（一般社団法人産業環境管理協会）/織朱實（上智大学）
- III 「市町村における温対法計画の策定状況に関する研究」
（高浜伸昭（市川市市長公室カーボンニュートラル推進課）/奥真美（東京都立大学）
- IV 「土壌汚染対策における土地所有者責任のあり方に関する一考察 ―台湾法と韓国法を手がかりに―」
（許佑鴻（早稲田大学大学院）/吉川潤（早稲田大学大学院）

第 2 分科会 企画セッション「気候訴訟の現状と課題」〔主催者：牛嶋仁（中央大学）〕

本企画セッションは、英国国際・比較法研究所 (British Institute of International and Comparative Law) の調査研究企画”Global Perspectives on Corporate Climate Legal Tactics”日本レポート執筆グループ・メンバーによる報告及び浅岡弁護士のコメントにより構成されている。本セッションは、グローバル社会における気候訴訟の動向をふまえて、日本の気候訴訟の現状と課題について行った分析・検討を報告し、今後の気候訴訟の潜在的可能性に資することを目的としている。

報告

- I 牛嶋仁（中央大学） 「分科会報告の趣旨、神戸石炭火力発電所行政訴訟判決の検討」
- II 一原 雅子（総合地球環境学研究所） 「仙台・横須賀両石炭火力発電所訴訟判決の検討」
- III 池田 直樹（弁護士・関西学院大学） 「神戸石炭火力発電所民事差止訴訟の現状と課題」
- IV 乗上 美沙（Centre for Research on Multinationals (SOMO)）
「OECD 多国籍企業 RBC ガイドライン遵守のための非司法的救済制度の運用」

コメント

- 浅岡 美恵（弁護士） 「報告に対するコメント、グリーン・ウォッシュに対する法的救済」